

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	し尿処理システム国際普及推進事業費	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	担当課室	廃棄物対策課浄化槽推進室	浄化槽推進室長 樽林 茂夫		
会計区分	一般会計	上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	日本は、浄化槽やし尿処理施設など、日本発の優れた技術を有するとともに、途上国で普及する場合に必要な低コスト技術についても独自の経験と技術を有している。一方で、世界では26億人の人々が衛生的なトイレを使用できない状況にあり、国連「水と衛生に関する諮問委員会」がとりまとめた「橋本行動計画」の実現に向け、このような日本のし尿処理に関する歴史的知見、技術、処理システム等の途上国に対する支援が求められている。このため、日本のし尿処理技術の国際普及を図り、2015年までに衛生施設(トイレ)を継続的に利用できない人々の割合を半減するという国連ミレニアム開発目標の達成に資するものである。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の関係者へ日本のし尿処理に関する経験と技術を発信し、及び途上国等におけるし尿処理の課題を共有するためのネットワークを構築する。 ・日本が有するし尿処理技術を諸外国において適用させるには、現地の気候、文化、水道・電気の普及状況等を踏まえつつ、現地の住民が継続的に維持管理することが可能なものに変化させる必要があることから、各国の研究者と協同して現地に適したし尿処理技術の開発を行う。 ・分散型処理システムである浄化槽やし尿処理施設の維持管理は、システムの全体像を把握し、住民に密着した技術者の要請が不可欠であることから、現地での指導的立場にある技術者に対して日本のし尿処理に係る法制度や技術の教育を行うとともに、現地における技術者養成プログラムの構築、実践を行う。 ・上記の取組を展開していくためには、国内の産学官の関係者が国内産業の持続的発展の視点を持って連携していくことが必要であることから、各種事例のケーススタディ、プロジェクト調査や開発の検討を連携して行うワーキングチームを構築する。 					
実施状況	平成21年度においては、日本及び世界におけるし尿処理技術の現状を調査・整理し、これを基に浄化槽等し尿処理システムの独自の優れた技術や経験を活用して、分散型汚水処理の国際展開の施策の方向性及び関係者等との協力のあり方等を検討するとともに、各国の分散型汚水処理技術に関する専門家や担当者等との意見交換を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	—	21	20	
	執行額	—	—	14		
	執行率	—	—	69%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	14		
自己点検	支出先・ 使途の把 握水準・ 状況	業務実施段階で請負者と綿密に打合せを行うなど、適宜連絡を取っており、業務の具体的な実施内容・遂行状況を把握している。				
	見直しの 余地	平成21年度に実施した、分散型汚水処理の国際展開の施策の方向性及び関係者等との協力のあり方等の検討や各国の分散型汚水処理技術に関する専門家や担当者等との意見交換を踏まえ、ネットワーキング、現地技術化、技術移転のテーマの具体化に向けた効果的・効率的な取組が必要であり、これに対処するため、国内の産学官の関係者が国内産業の持続的発展の視点を持って連携していくことが必要であることから、各種事例のケーススタディ、プロジェクト調査や開発の検討を連携して行うワーキングチームを構築していく。(平成22年度から実施)また、引き続き競争性のある契約方式により効率的に実施していく。				
予算 チーム 監視の 効率 見率						
補 記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額) 単位:百万円					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	—	—	—			

環境省

14百万円

〔業務内容の企画、実施状況の監督〕



【一般競争】

A. (財)日本環境整備教育センター

14百万円

〔し尿処理システム国際普及推進業務の実施〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(財)日本環境整備教育センター			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	し尿処理システム国際普及推進業務費	14			
計		14	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)